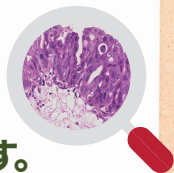


肉眼では判断できない
炎症や腫瘍を、顕微鏡で
調べる専門検査があります。



専門医による病理組織検査をご紹介します。

動物専門の病理診断医による病変の検査

病理組織検査

病理組織検査とは、どんな検査ですか？

採取した組織から組織標本を作成して、顕微鏡レベルで観察します。病変の種類（炎症や腫瘍等）、腫瘍であれば良性/悪性、広がりや程度、血管やリンパ管への侵入、そしてリンパ節転移などを調べることができます。

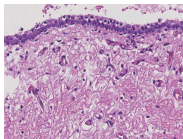
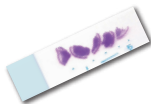
臓器
例：膀胱



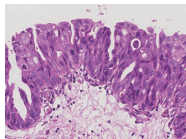
組織標本
作成



顕微鏡で観察



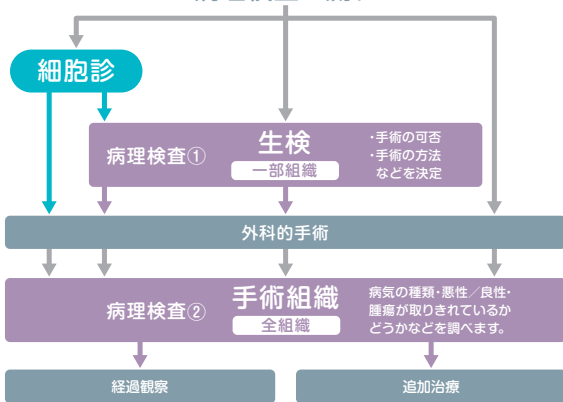
正常な組織（膀胱）



癌化した組織（膀胱）

病気の原因を調べたり、病巣が手術できちんと切除されているかを確認めます。

病理検査の流れ



病理細胞診の専門医とは？

- 病理細胞診の専門医には国内外に認定制度があります。
日本では日本獣医病理学専門家協会 JCVP (Japanese College of Veterinary Pathologists) が会員資格認定試験を行っています。

- 世界的に著名な認定試験には、米国獣医病理専門医 ACVP (American College of Veterinary Pathologists) の会員資格認定試験があります。

獣医大学を卒業して、さらに数年から10年あまりをかけて専門医教育を受けるとともに専門医としての経験を積み、
その上で複数の試験に合格してはじめて認定される
難関の資格とされています。

ACVP認定医はアメリカ国内だけでなく、日本でも専門医として活動しています。